

2017年3月期 決算説明



株式会社 ショーエイ コーポレーション

目次

2017年3月期の業績	P. 3
2018年3月期の見通し	P.15
中期展望	P.28
会社概要・事業説明	P.36

2017年3月期の業績

2017年3月期の業績(連結)

	2016年3月期		2017年3月期		増減		2017年3月期予想		
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	増減率 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	達成率 (%)
売上高	14,560	100.0	14,727	100.0	167	1.1	15,872	100.0	92.8
売上総利益	2,426	16.7	2,954	20.1	527	21.7	2,932	18.5	100.8
営業利益	177	1.2	551	3.7	373	210.7	485	3.1	113.6
経常利益	102	0.7	483	3.3	381	373.5	482	3.0	100.2
親会社株主に帰属する 当期純利益	19	0.1	325	2.2	306	-	292	1.8	111.3
1株当たり 当期純利益(円)	3.00	-	50.52	-	-	-	45.3	-	-

※百万円未満切り捨て

2017年3月期 セグメント別の実績(連結)

	2016年3月期		2017年3月期		増減		2017年3月期予想		
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	増減率 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	達成率 (%)
売上高	14,560	100.0	14,727	100.0	167	1.1	15,872	100.0	92.8
パッケージ事業	8,459	58.1	8,890	60.4	431	5.1	9,456	59.6	94.0
メディアネットワーク事業	3,047	20.9	2,647	18.0	△400	△13.1	3,058	19.3	86.6
日用雑貨品事業	3,407	23.4	3,496	23.7	89	2.6	3,708	23.4	94.3
セグメント間の内部売上高	△354	△2.4	△306	△2.1	-	-	△349	-	-
売上総利益	2,426	16.7	2,954	20.1	528	21.8	2,932	18.5	100.8

※百万円未満切り捨て

2017年3月期 セグメント別グループ会社別の業績(連結)

単位：百万円	2016年 3月期	2017年3月期(実績)				
		連結	単体 (ショーエイ)	子会社 (CS)	子会社 (クルー)	子会社 (SPT)
売上高	14,560	14,727	8,727	3,535	2,682	1,666
パッケージ事業	8,459	8,890	5,956	-	2,682	1,666
メディアネットワーク事業	3,047	2,647	2,647	-	-	-
日用雑貨品事業	3,407	3,496	-	3,535	-	-
セグメント間の内部売上高	△354	△306	-	-	-	-
売上総利益	2,426	2,954	1,588	610	607	267

※百万円未満切り捨て

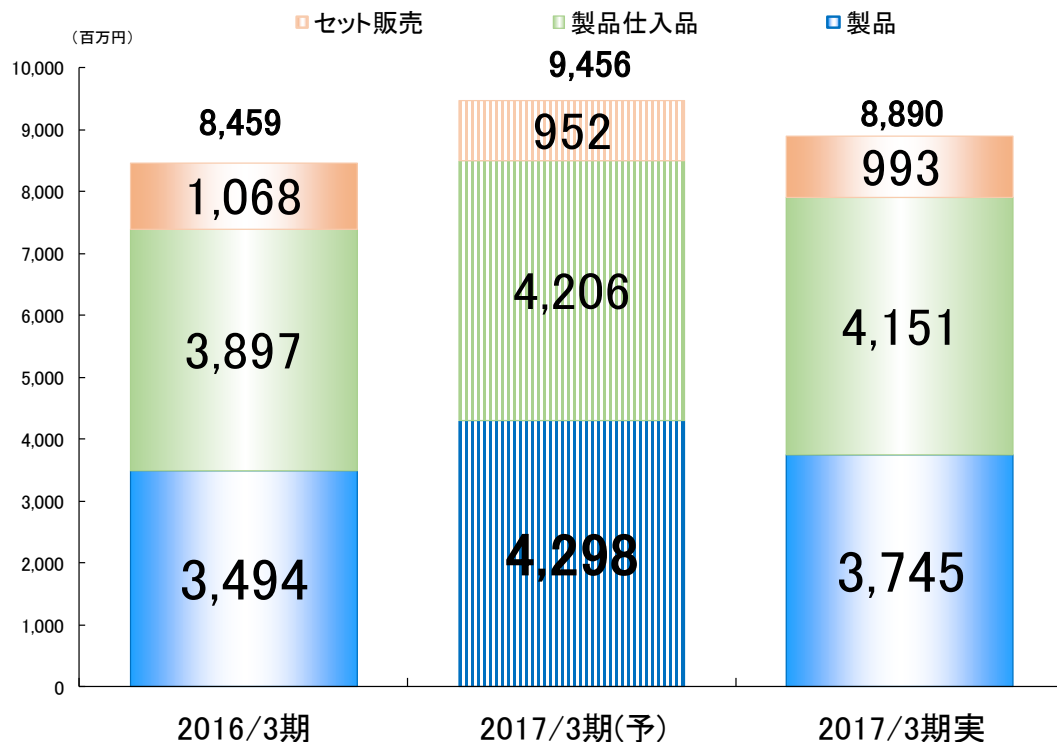
パッケージ事業 2017年3月期の業績

		2016年3月期		2017年3月期		増減		2017年3月期予想		
		金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	増減率 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	達成率 (%)
売上高		8,459	100.0	8,890	100.0	431	5.1	9,456	100.0	94.0
	製品	3,494	41.3	3,745	42.1	251	7.2	4,298	45.5	87.2
	製品仕入品	3,897	46.1	4,151	46.7	254	6.5	4,206	44.5	98.7
	セット販売	1,068	12.6	993	11.2	△75	△7.0	952	10.1	104.3
売上総利益		1,761	20.8	2,167	24.4	406	23.1	1,884	19.9	115.0
セグメント利益		597	7.1	983	11.1	386	64.7	870	9.2	113.1

※百万円未満切り捨て

パッケージ事業：

製品売上・製品仕入品：パッケージ（袋）等の包装資材の企画、製造、販売
※自社製品は「製品」、他社製品は「製品仕入品」に区分
セット販売：お客様の製商品をパッケージ（袋）等に包装加工



- ◎主力製品であるネオパック、サイドシールは販売額（5.3%増）及び数量（7.4%増）とも拡大している。
- ◎海外製品売上や収益性の高い充填作業等セット販売の取引件数が増加している。
- ◎タイ工場の稼働向上によって生産効率が上がり粗利額が増加している。

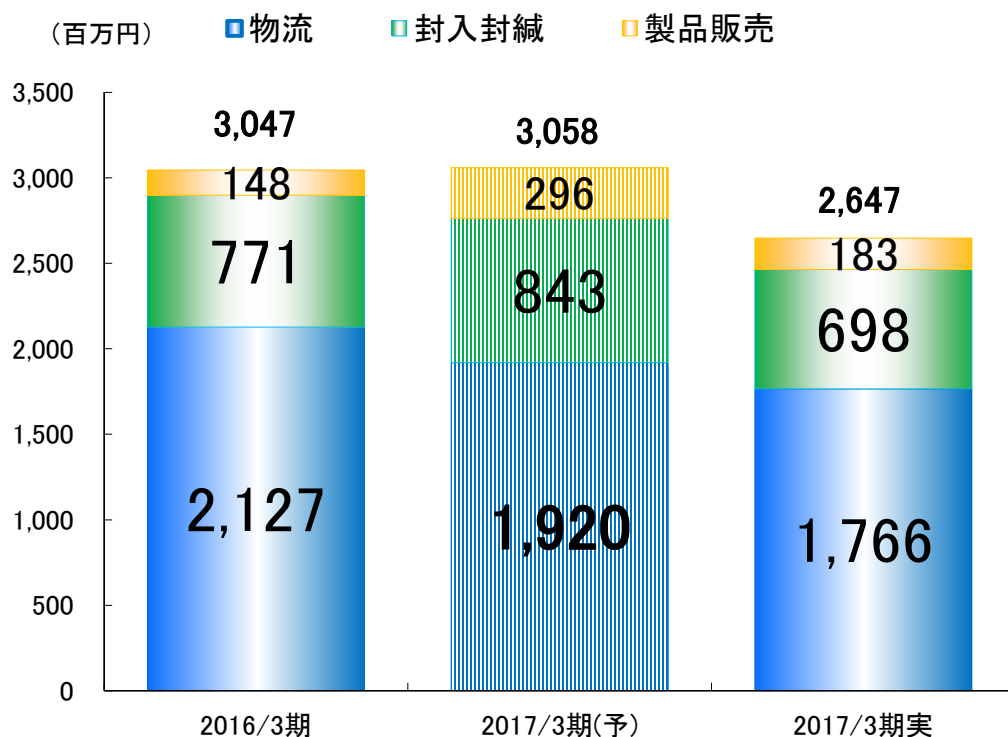
メディアネットワーク事業 2017年3月期の業績

	2016年3月期		2017年3月期		増減		2017年3月期予想		
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	増減率 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	達成率 (%)
売上高	3,047	100.0	2,647	100.0	△400	△13.1	3,058	100.0	86.6
封入封緘	771	25.3	698	26.4	△73	△9.5	843	27.6	82.8
物流	2,127	69.8	1,766	66.7	△361	△17.0	1,920	62.8	92.0
製品販売	148	4.9	183	6.9	35	23.6	296	9.7	61.8
売上総利益	192	6.3	182	6.9	△10	△5.2	225	7.4	80.9
セグメント利益	67	2.2	41	1.5	△26	△38.8	89	2.9	46.1

※百万円未満切り捨て

メディアネットワーク事業：

封入封緘売上：お客様のカタログや冊子を封入封緘
物流売上：封入封緘したものを民間メール便、日本郵政に委託して送付
製品販売：封筒や封入物の企画・制作



◎ 配送費の低減、開封率のアップや煩わしさの低減等の提案を進めたが、封入封緘、物流売上が不振となり、売上高は前期を13.1%下回る

◎ 前期持ち直していた封入封緘は取扱通数が5.3%減少し、73百万円、9.5%の減少。

◎ 物流売上は単価の引下げ等により前期比361百万円、17.0%の減少。製品販売は34百万円、23.3%の増加。

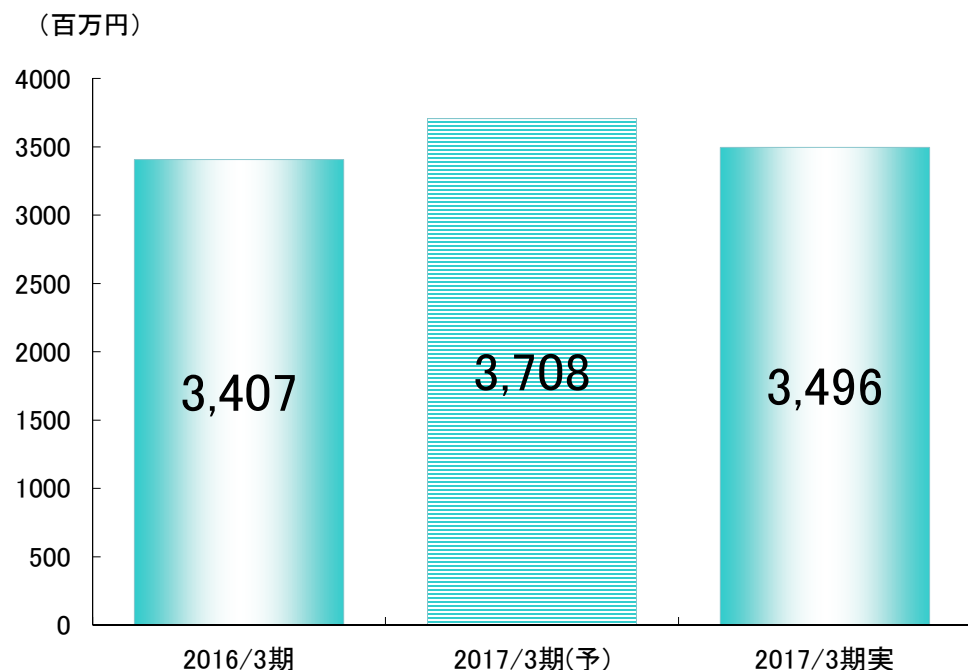
日用雑貨品事業 2017年3月期の業績

	2016年3月期		2017年3月期		増減		2017年3月期予想		
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	増減率 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	達成率 (%)
売上高	3,407	100.0	3,496	100.0	89	2.6	3,708	100.0	94.3
売上総利益	476	14.0	603	17.2	127	26.7	580	15.6	104.1
セグメント利益	△ 18	△ 0.5	108	3.1	126	-	76	2.0	142.1

※百万円未満切り捨て

日用雑貨品事業：

- ・ 日用雑貨品の企画販売が主力。
- ・ 商品仕入れにおいて海外協力メーカーとの強いパイプによる高い原価逡減力と仕入ノウハウ完備。
- ・ 100円ショップ、量販店等の専門店がお客様



- ◎ 海外協力メーカー等の商品調達ルート作り、商品企画開発力の向上により、100円ショップ及びドラッグストア向けの販売が微増し、前期比 88百万円、2.6%増加する。
- ◎ しずくネイルや消耗品の新商品の投入を進めた。
- ◎ 仕入品の原価逡減を積極的に進め、また為替変動により下期より利益率が改善した。

財政状態(貸借対照表主要科目) (連結)

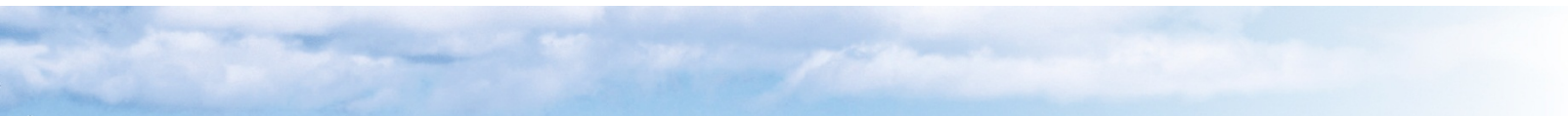
	2016年3月期 末		2017年3月期末				主な要因
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	増減額 (百万円)	増減率 (%)	
(流動資産)	4,627	64.9	4,964	66.3	337	7.3	
現金及び預金	297	4.2	612	8.2	315	106.1	
受取手形及び売掛金	2,498	35.0	2,666	35.6	168	6.7	
たな卸資産	1,558	21.8	1,399	18.7	△159	△10.2	
その他流動資産	273	3.8	286	3.8	13	4.8	
(固定資産)	2,505	35.1	2,520	33.7	15	0.6	投資有価証券の増加94百万円等
(繰延資産)	0	0.0	0	0.0	△0	-	
資産合計	7,133	100.0	7,485	100.0	352	4.9	
(流動負債)	4,580	64.2	4,743	63.4	163	3.6	支払手形及び買掛金の増加56百万円や未払法人税等の増加
(固定負債)	854	12.0	670	9.0	△184	△21.5	社債の減少39百万円や長期借入金の減少165百万円
負債合計	5,435	76.2	5,413	72.3	△22	△0.4	
純資産合計	1,697	23.8	2,071	27.7	374	22.0	利益剰余金277百万円やその他有価証券評価差額金の増加53百万円
負債純資産合計	7,133	100.0	7,485	100.0	352	4.9	

※百万円未満切り捨て

キャッシュ・フローの概要 (連結)

		2016年3月期 (百万円)	2017年3月期 (百万円)	主な要因
	営業キャッシュ・フロー	405	715	売上債権の増加額199百万円、税金等調整前当期純利益477百万円、減価償却費107百万円、たな卸資産の減少額152百万円、仕入債務の増加額82百万円
	投資キャッシュ・フロー	△22	△56	有形固定資産の取得による支出46百万円
フリーキャッシュ・フロー		383	658	
財務キャッシュ・フロー		△663	△376	長期借入れによる収入200百万円、長期借入金の返済による支出397百万円、社債の償還による支出83百万円
現金及び現金同等物の増減額		△288	315	
現金及び現金同等物の期末残高		297	612	

2018年 3 月期の 見通し



2018年3月期業績見通し(連結)

	2017年3月期		2018年3月期(予)		増減	
	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	増減率(%)
売上高	14,727	100.0	15,200	100.0	473	3.2
売上総利益	2,954	20.1	3,143	20.7	189	6.4
営業利益	551	3.7	558	3.7	7	1.3
経常利益	483	3.3	525	3.5	42	8.5
親会社株主に帰属する 当期純利益	325	2.2	334	2.2	9	2.5
1株当たり 当期純利益(円)	50.52	-	51.80	-	-	-
1株当たり 配当金(円)	10.0	-	10.0	-	-	-

※百万円未満切り捨て

高収益で成長力のある会社になる

- 営業力の強化
- 商品開発力

2018年3月期の予算達成のために ②

1. 本部制を撤廃し、営業部を社長直轄にするフラットな組織にする
2. 拡販体制の確立のため営業社員の増員 → 早期育成プログラム
3. プロモーション営業の拡充 → 開発型営業・プロデュース力
4. 充填セットの強化 → パウチ、ボトル充填機等の機械設置
5. 誰もが「あったら便利」という身近な商品をできるだけ早く投入する
6. 商品開発・購買・業務・物流部門の集約
→ 「商品部(仮)」 「ロジスティクス部(仮)」
7. 為替レートは1ドル 115円。原材料価格は10%アップを想定

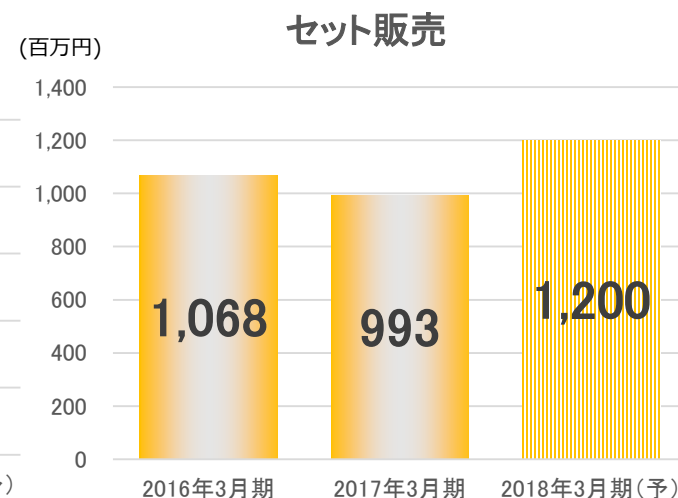
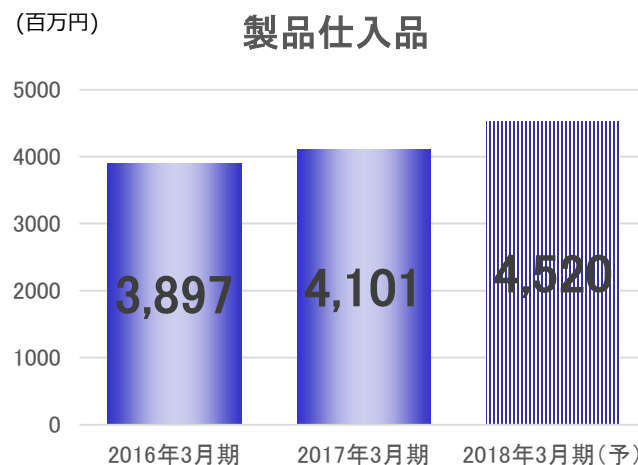
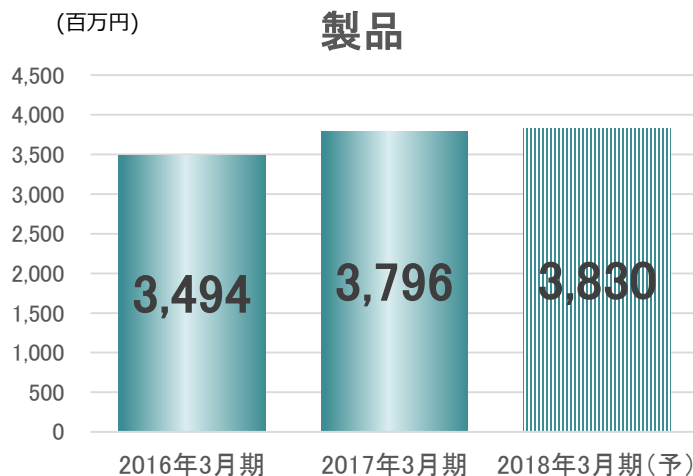
パッケージ事業 2018年3月期の業績見通し(連結)

	2017年3月期		2018年3月期 (予)		増減	
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	増減率 (%)
売上高	8,890	100.0	9,550	100.0	660	7.4
製品	3,745	42.1	3,830	40.1	85	2.3
製品仕入品	4,151	46.7	4,520	47.3	369	8.9
セット販売	993	11.2	1,200	12.6	207	20.8
売上総利益	2,167	24.4	2,312	24.2	145	6.7
セグメント利益	983	11.1	1,105	11.6	122	12.4

※百万円未満切り捨て

売上高 95億50百万円 (前期比 6億60百万円増)

- ・ 充填セットを中心とした一気通貫ビジネスの拡大 2億7百万円
- ・ プロモーション営業推進による拡販 2億円
- ・ 海外仕入品による増収 2億円
- ・ 新聞販売店向けの販売拡大 85百万円



※百万円未満切り捨て

メディアネットワーク事業 2018年3月期の業績見通し(連結)

	2017年3月期		2018年3月期（予）		増減	
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	増減率 (%)
売上高	2,647	100.0	2,660	100.0	13	0.5
封入封緘	698	26.4	700	26.3	2	0.3
物流	1,766	66.7	1,770	66.5	4	0.2
製品販売	183	6.9	190	7.1	7	3.8
売上総利益	182	6.9	186	7.0	4	2.2
セグメント利益	41	1.6	45	1.7	4	2.2

※百万円未満切り捨て

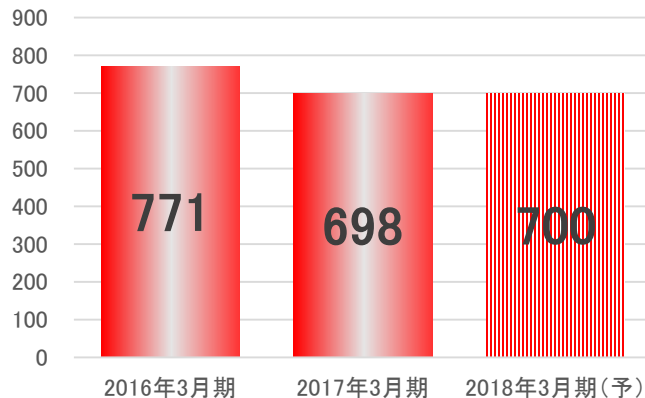
メディアネットワーク事業

売上高 26億60百万円 (前期比 13百万円増)

- ・ 収益性の高い販促品を中心としたビジネスに転換していく。
- ・ 通販品の商品開発の提案営業の展開。
- ・ 販促品に絡んだ製品販売 20百万円
- ・ セット販売の獲得 20百万円

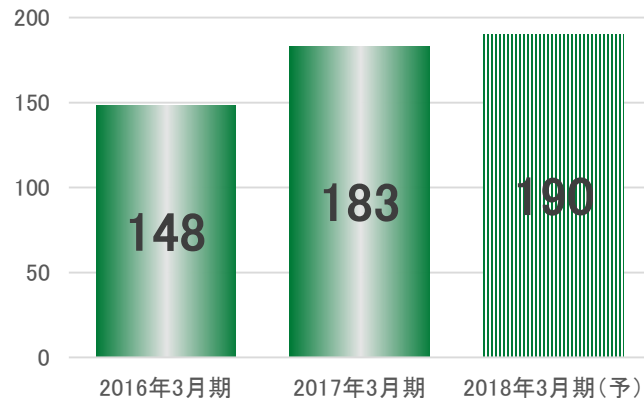
(百万円)

封入封緘



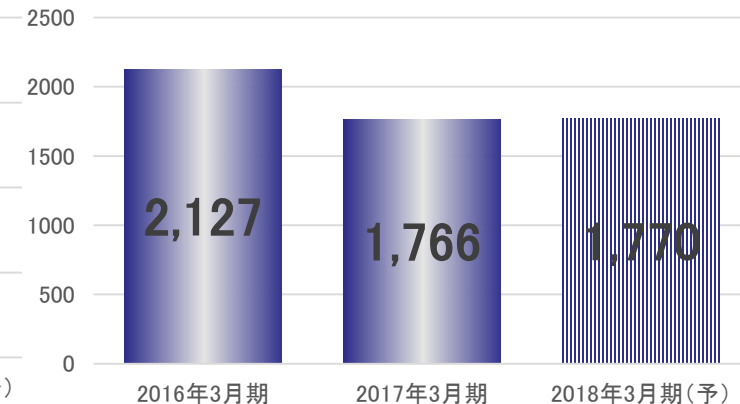
(百万円)

製品販売



(百万円)

物流



※百万円未満切り捨て

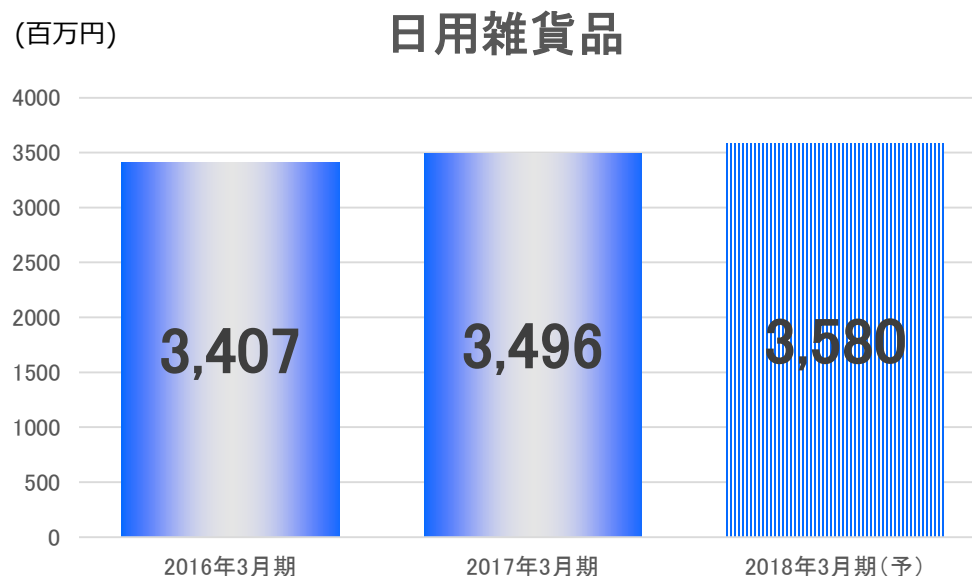
日用雑貨品事業 2018年3月期の業績見通し(連結)

	2017年3月期		2018年3月期 (予)		増減	
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	増減率 (%)
売上高	3,496	100.0	3,580	100.0	84	2.4
売上総利益	603	17.3	645	18.0	42	7.0
セグメン利益	108	3.1	112	2.7	4	3.7

※百万円未満切り捨て

売上高 35億82百万円 (前期比 85百万円増)

- ・ 家電量販向けの縮小等による減少 $\triangle$ 1億14百万円
- ・ 消耗品・充填商品等の新商品投入 1億54百万円
- ・ 地方中堅ドラッグストア開拓 75百万円



※百万円未満切り捨て

2018年3月期 セグメント別見通し(連結)

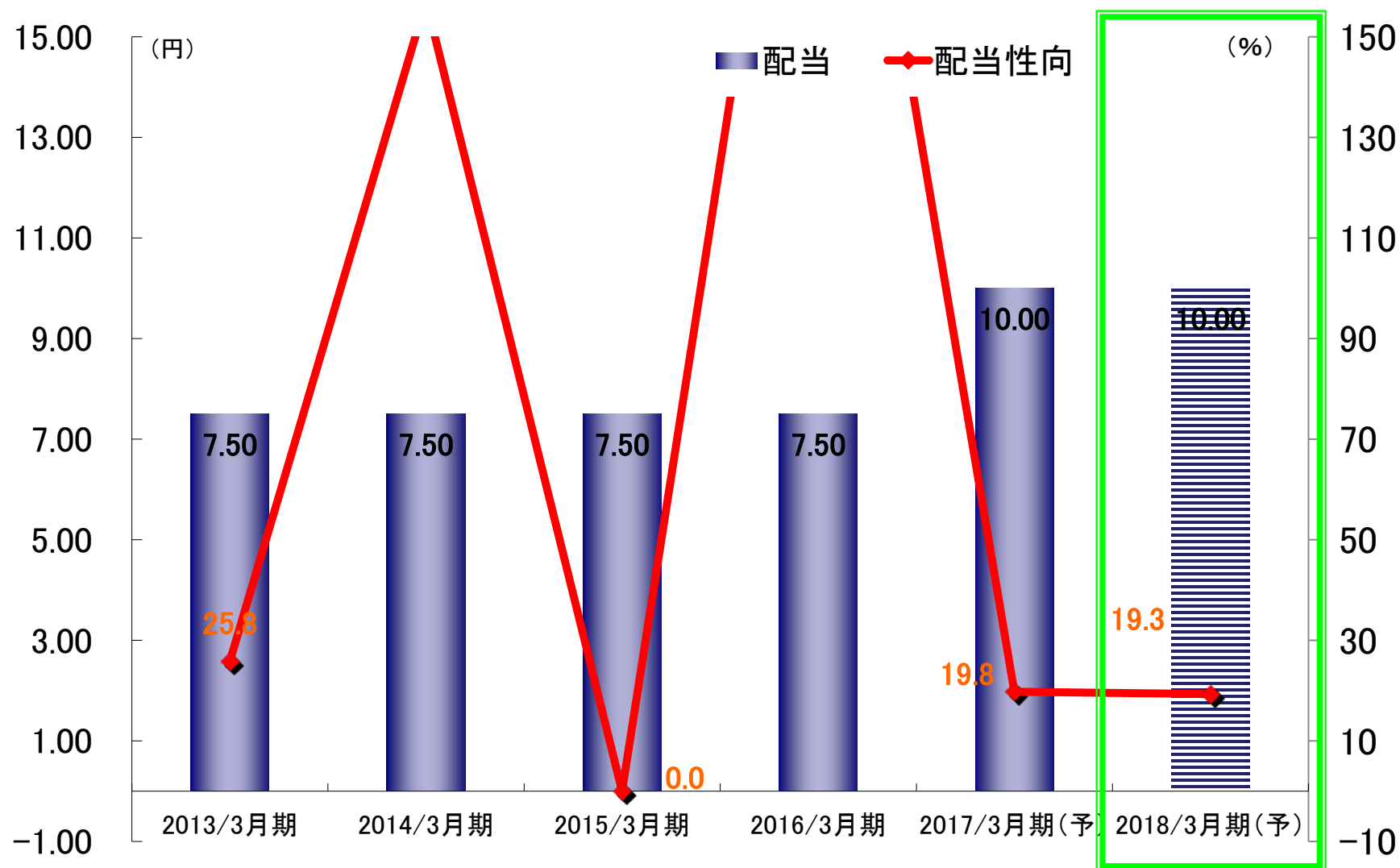
		2017年3月期		2018年3月期 (予)		増減	
		金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	増減率 (%)
売上高		14,727	100.0	15,200	100.0	473	3.2
	パッケージ事業	8,890	60.4	9,550	62.8	660	7.4
	メディアネットワーク事業	2,647	18.0	2,660	17.5	13	0.5
	日用雑貨品事業	3,496	23.7	3,580	23.6	84	2.4
	セグメント間の内部売上高	△306	△2.1	△590	△3.9	-	-

2018年3月期 セグメント別グループ会社別見通し(連結)

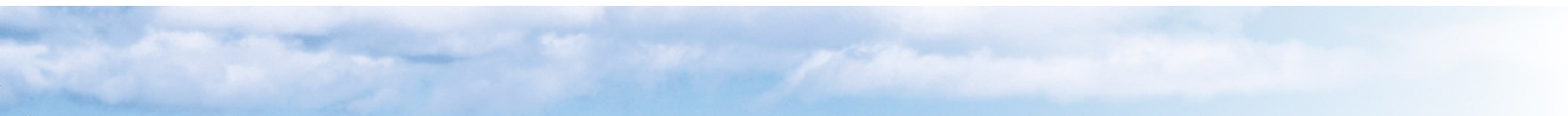
単位：百万円	2017年 3月期	2018年3月期(予)				
		連結	単体 (ショーエイ)	子会社 (CS)	子会社 (クルー)	子会社 (SPT)
売上高	14,727	15,200	9,126	3,582	3,215	1,778
パッケージ事業	8,890	9,550	6,466	-	3,215	1,778
メディアネットワーク事業	2,647	2,660	2,660	-	-	-
日用雑貨品事業	3,496	3,580	-	3,582	-	-
セグメント間の内部売上高	△306	△590	-	-	-	-

※百万円未満切り捨て

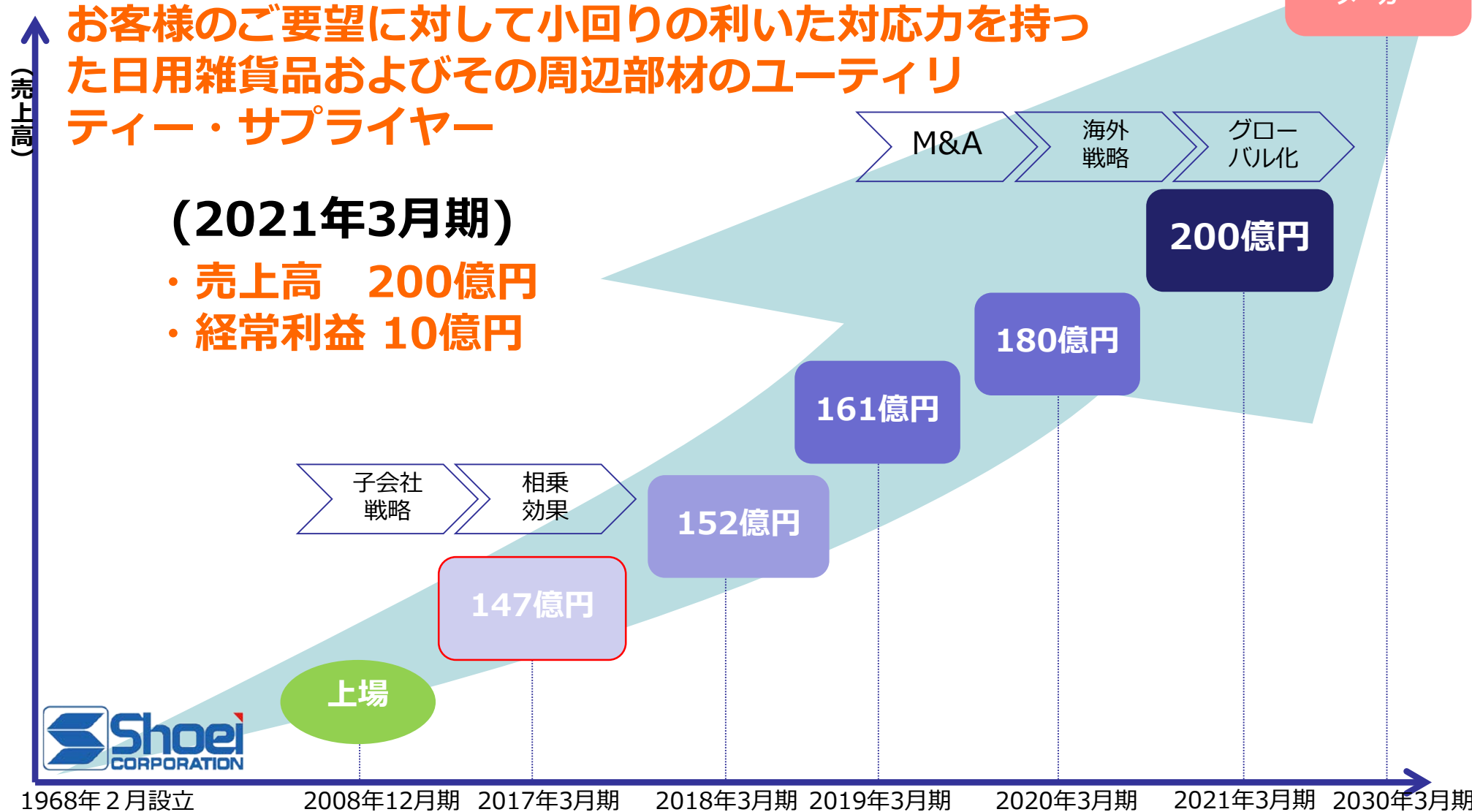
当社の配当政策に対する考え方 ～安定的な配当を実施



中期展望



中期経営計画 - 重点戦略 -



※百万円未満切り捨て

中期経営計画を進めるための重要な課題

1. 商品調達力の強化(海外ルートの開拓)
2. 商品企画・開発力の向上
3. 増客(直ユーザーの開拓)
4. 人財
5. 社内管理体制
6. M & A

中期業績目標(連結)

	2017年3月期(実)		2018年3月期(予)		2019年3月期(目標)		2020年3月期(目標)	
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)
売 上 高	14,727	100.0	15,200	100.0	16,100	100.0	18,000	100.0
売上総利益	2,954	20.1	3,143	20.7	3,280	20.4	3,690	20.5
営 業 利 益	551	3.7	558	3.7	580	3.6	690	3.8
経 常 利 益	483	3.3	525	3.5	554	3.4	664	3.7
親会社株主に帰属する 当 期 純 利 益	325	2.2	334	2.2	364	2.2	425	2.4
1株当たり 当期純利益(円)	50.52	-	51.80	-	56.46	-	65.92	-
1株当たり 配当金(円)	10.0	-	10.0	-	10.0	-	10.0	-

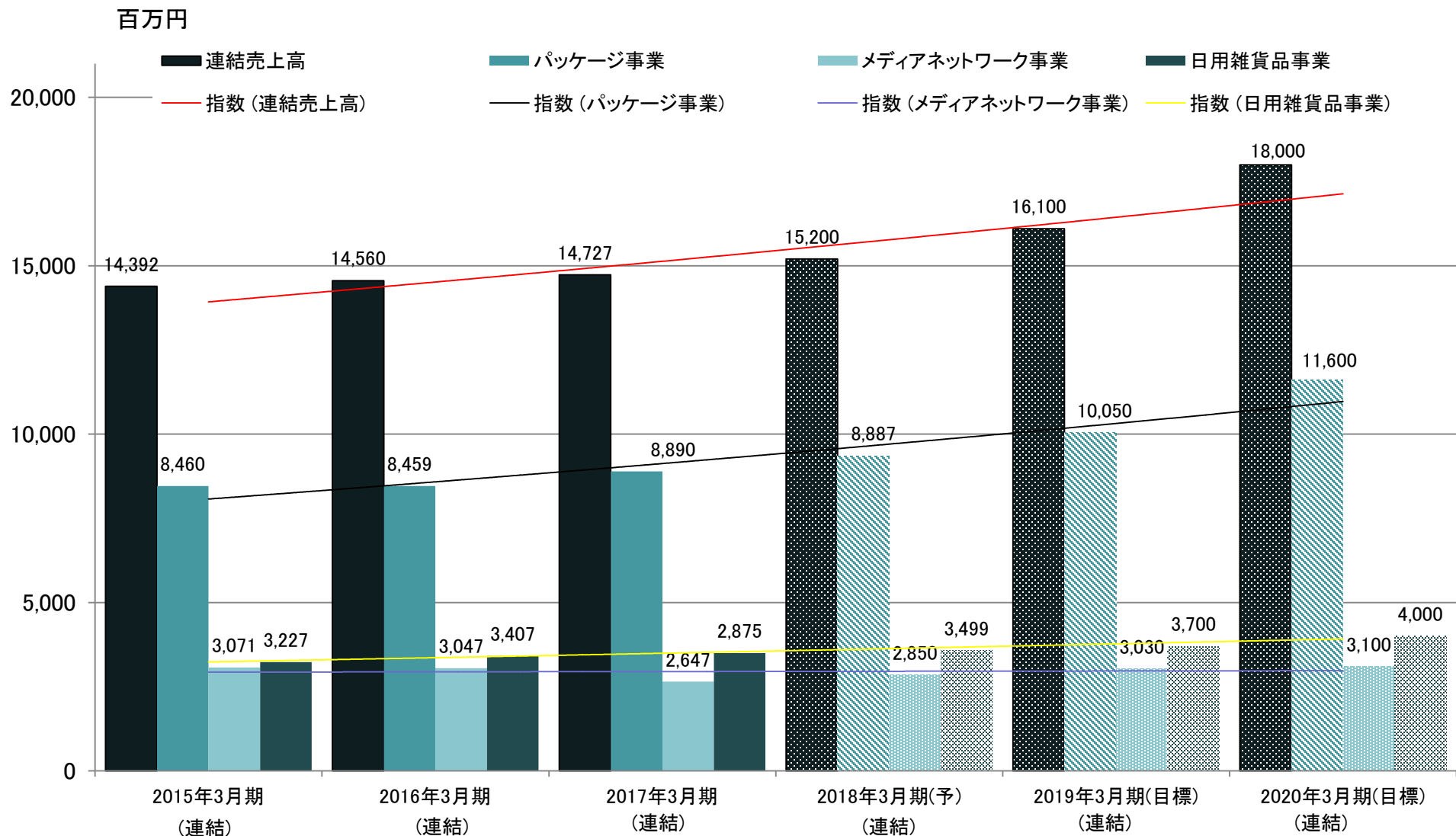
セグメント別 ― 中期業績目標(連結)

	2017年3月期(実)		2018年3月期(予)		2019年3月期(目標)		2020年3月期(目標)	
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)
売 上 高	14,727	100.0	15,200	100.0	16,100	100.0	18,000	100.0
パッケージ事業	8,890	60.4	9,550	62.8	10,270	63.8	11,740	65.2
メディアネットワーク事業	2,647	18.0	2,660	17.5	2,810	17.5	2,960	16.4
日用雑貨品事業	3,496	23.7	3,580	23.6	3,700	23.0	4,000	22.2
セグメント間の内部売上高	△306	△2.1	△590	△3.9	△680	△4.2	△700	△3.9

※百万円未満切り捨て

※各事業の売上高にはセグメント間の内部売上高を含んでおります

中期業績目標(連結) – セグメント別売上高見通し

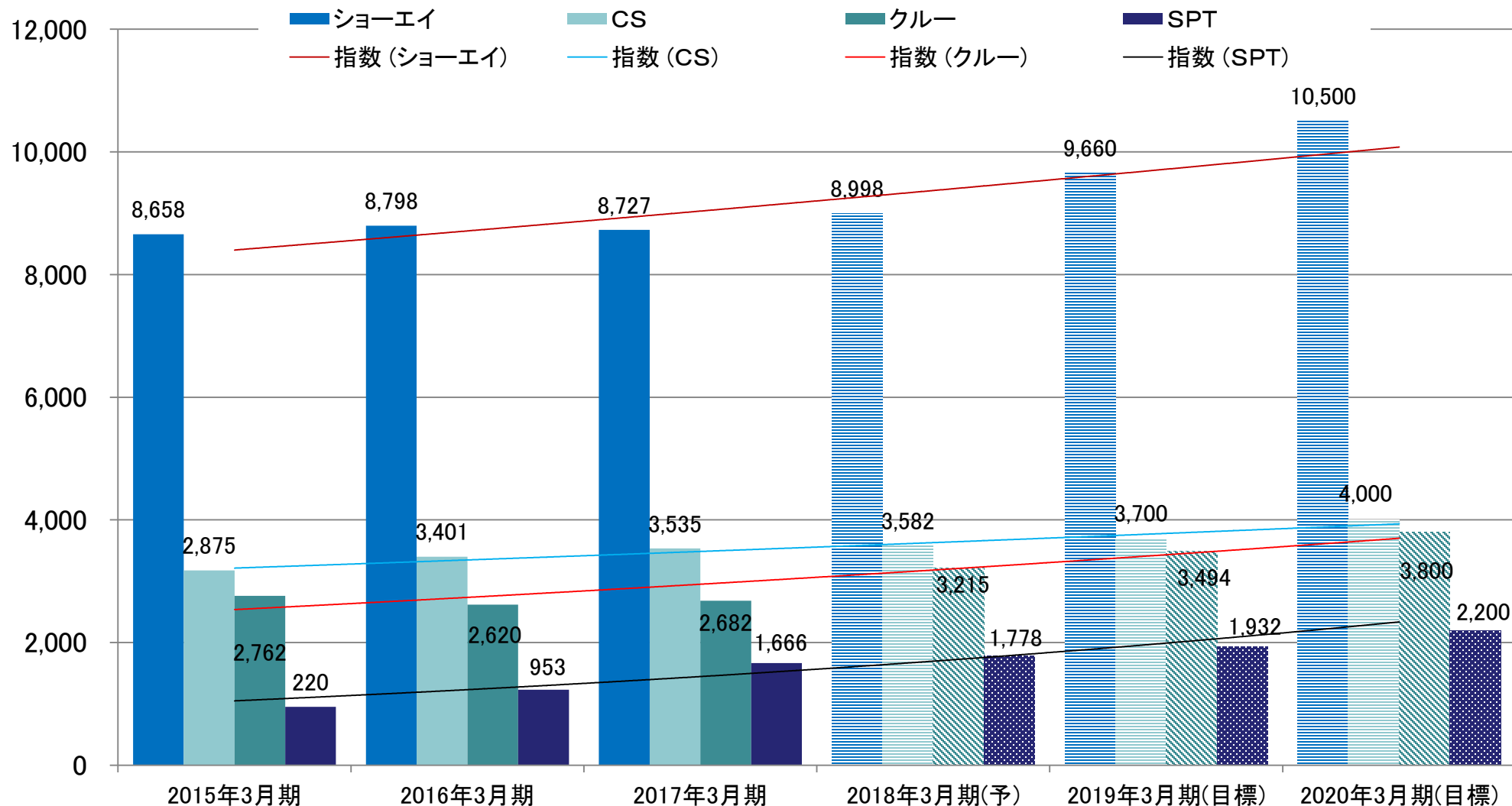


※百万円未満切り捨て

※各事業の売上高にはセグメント間の内部売上高を含んでおります

中期業績目標(連結) – 会社別売上高見通し

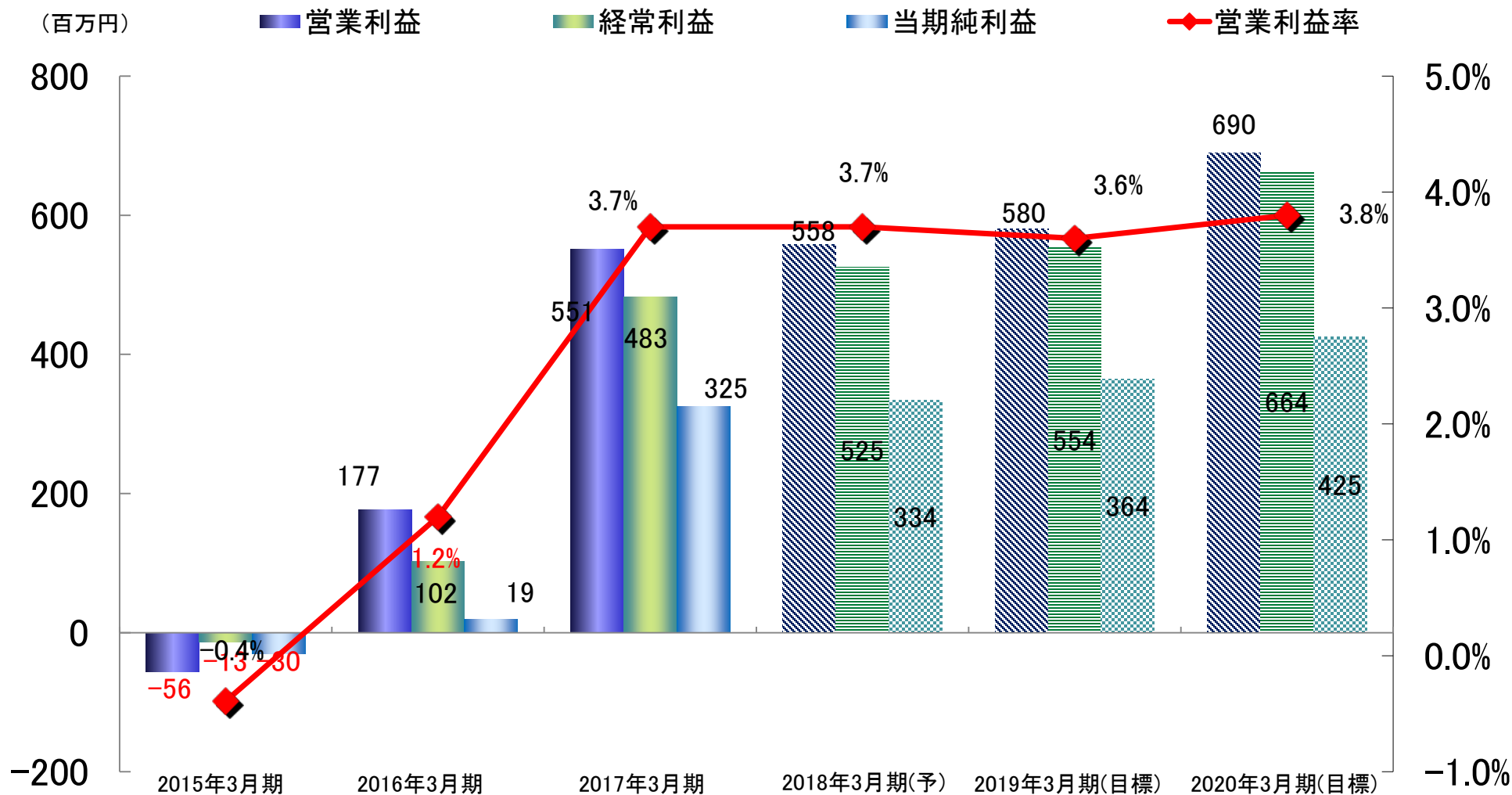
百万円



※百万円未満切り捨て

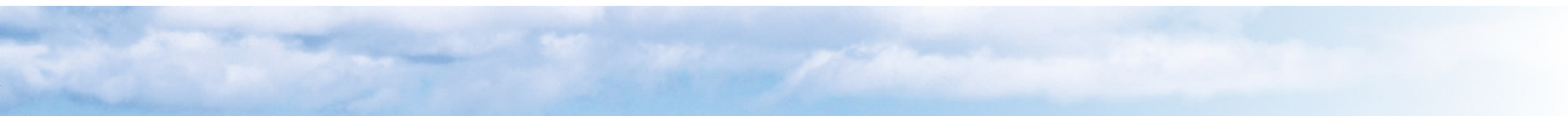
※各事業の売上高にはセグメント間の内部売上高を含んでおります

中期利益目標(連結) 営業利益・経常利益・当期純利益推移



※百万円未満切り捨て

会社概要・事業説明



会社概要

【会社名】	株式会社ショーエイコーポレーション
【代表者】	代表取締役社長 芝原 英司
【所在地】	大阪府中央区備後町二丁目1番1号
【設立】	1968年2月16日
【資本金】	2億29百万円（2017年6月1日現在）
【従業員】	（連結） 254名 （単体） 153名（2017年6月1日現在）
【取引銀行】	みずほ銀行、りそな銀行、商工中金、三菱東京UFJ銀行 他
【連結事業】	パッケージ事業 メディアネットワーク事業 日用雑貨品事業
【支店等】	東京支店・名古屋支店・広島営業所・横浜営業所・福岡営業所 大阪センター・大阪第2センター・神奈川センター
【子会社】	株式会社CS、株式会社クルー、ショーエイ・プラスチック・タイランド
【上場市場】	東京証券取引所 JASDAQ(グロース) （証券コード：9385）

■ 経営理念

- 全従業員の物心両面の幸福を追求するとともに社会の進歩発展に貢献すること

わたしたちショーエイコーポレーションが目指す「全従業員の物心両面の幸福」とは、経済的な安定や豊かさを求めていくとともに、仕事を通じて自己実現をし、生き甲斐や働き甲斐といった人間としての心の豊かさを求めていくことです。そして、わたしたちの事業が少しでも世の中のお役に立つことを目指し、常に謙虚に努力していきます。

■ 経営ビジョン

– パッケージサービスの一気通貫メーカーを目指す

わたしたちショーエイコーポレーションは、お客様の製品に対して最適かつ効果的なパッケージをご提供することはもちろんのこと商品のご提案、アッセンブリ、梱包そして配送までのプリセールスを含めた一気通貫型のサービスを専門性を活かし、ご提案できるパッケージメーカーを目指します。

– 人が育つ企業環境、文化を創る

わたしたちショーエイコーポレーションは、企業の成長は社員一人一人の成長にあると考え、社員の育成に最大限の投資をし、環境を整備します。

■ 経営基本方針

1. こまごまとした、煩わしい仕事こそがわが社の仕事

少量、多品種、短納期を得意とする。

2. 売上最大、経費最少

営業は1%の利益率の重みを知り、販売を努力する。
製造は常に経費低減に努力し、最大利益を目指す。

3. 新規獲得は無限

増客こそ成長の証し

4. 健全経営を目指す

不要、不急、見栄を張る投資はしない。
経費は使わない。
資産は所有するよりも、賃借を優先する。
借入金 は月間売上高以内とする。

5. 在庫を限りなくゼロに近づける

在庫は諸悪の根源

6. 信義に基づく経営をする

商売道徳を守る。
人間として恥ずべきことはしない。

7. 環境整備

社会性、公共性、安全性に関わる設備は最優先する。

8. 経営理念の浸透

アメーバ経営を徹底し、リーダーを育てる。

■ 当社の商品はあらゆる生活シーンに登場しております



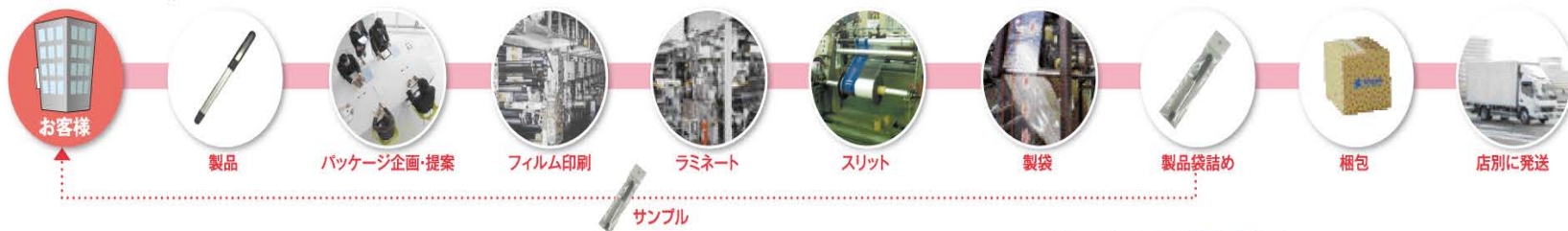
■ 当社の特長はお客様の求めるサービス、設備、品質 を時代に合わせたカタチにして事業展開することで

商品の企画からお客様へお届けまで、すべてのプロセスを貫く一気通貫サービス

一気通貫サービス

パッケージの企画提案から印刷、製造、さらに袋詰め、梱包、配送まで、パッケージサービスのすべてを一気通貫で行い、中間コストやお客様の手間を省き、ワンストップサービスを提供します。

フィルムパッケージ ●フィルムパッケージ一気通貫サービスの流れ



フィルムDM ●フィルムDM一気通貫サービスの流れ



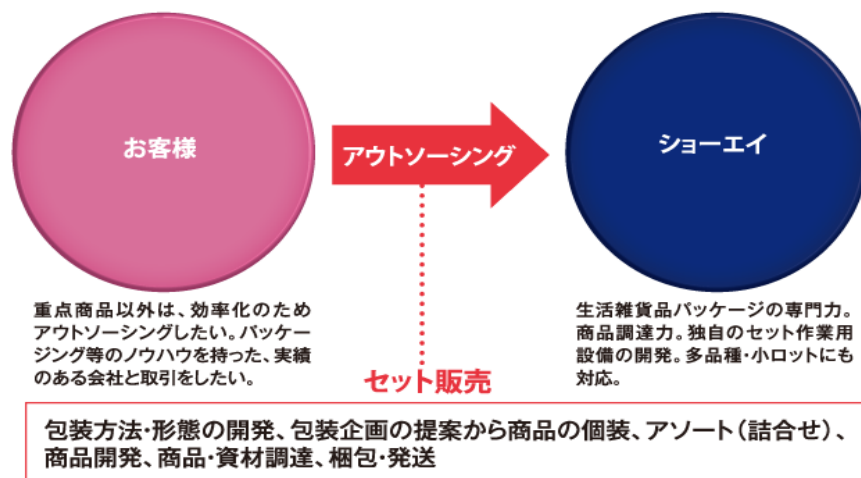
■ 一気通貫サービスの展開

すべての工程をアウトソースでとお考えのお客様へ対応

セット販売/BPO

お客様のニーズに合わせて、生活雑貨の商品開発、製造、商品調達、配送まで一貫して対応するセット販売によって、効率化のためのアウトソーシング受け入れ体制を構築しています。

BPO (ビジネス・プロセス・アウトソーシング)



製品・サービスのすべてに品質管理を徹底

品質管理



クオリティ・コスト・デリバリーなど、製品・サービスのすべてにわたって、品質管理を徹底しています。クオリティにおいては、ISO品質マネジメントシステムの品質管理基準を導入。お客様の多様なニーズに即応できるパッケージの生産体制を整えることで、ISO9001（2000年版）の更新登録を継続しています。

最高品質を提供するための設備と生産管理

横ビロー包装機（製品の袋詰め工程）



フィルムパッケージ用製袋機



定型DMラッピングマシン



保管倉庫



生産センター



設備

フィルムパッケージでは日本最大にして高機能の設備を有し、多種多様な製品に対応する効率的な生産管理体制をさらに強化しています。

医薬部外品にも対応できる生産環境

生産環境

クリーンルームを併設した大阪第2センターの開設によって、医薬部外品・化粧品の生産、食品の二次包装などにも対応。“お客様の工場”として生産環境を拡大、充実させています。

大阪第2センター



■ ネットワーク（2017年6月1日現在）

本社・支店、営業所（2支店 2営業所）

●東京支店

●横浜営業所

●名古屋支店

●本社

●広島営業所

●福岡営業所

生産拠点（3センター）

●神奈川センター

●大阪センター

●大阪第2センター

(免責事項)

- 本資料は、金融商品取引法上のディスクロージャー資料ではなく、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。また、特定の商品についての募集・勧誘・営業等を目的としたものではありません。
- 本資料に記載された見解、見通し、ならびに予測等は、資料作成時点での弊社の判断であり、今後、予告なしに変更されることがあります。予めご了承ください。

株式会社 ショーエイコーポレーション

お問合せ先:総務部

TEL:06-6233-2636 FAX:06-6233-2615

ホームページURL:

<http://www.shoei-corp.co.jp/>